

岩手県立
釜石高等学校

台湾研修 レポート



台湾研修 レポート



2025年12月9日から13日にかけて、台湾での研修を実施しました。

今回はその中から、生徒たちが台湾大学での英語による発表や現地学生との共同研究に挑戦した様子を中心に紹介します。

生徒たちは、言語や文化の壁を越え、多くの学びと感動を経験しました。

英語発表に向けての努力と、本番での堂々たる発表

2日目、生徒たちは台湾大学で英語による発表に挑みました。発表では前夜の遅くまでの練習の成果を存分に発揮。堂々と話す姿に、現地の先生方からも高い評価をいただきました。

緊張の中でも、自分たちの言葉で自分たちの研究を伝えるその姿は、非常に頼もしく映りました。

質疑応答もすべて英語で行われ、特に自分たちの研究内容に関する質問には自信を持って答える場面もありました。大学の先生方からのアドバイスには専門用語も多く含まれており、難しさもあったと思いますが、それもまた貴重な学びとなりました。



英語で深まる交流と、最後の発表会で見せた成長

3日目、生徒たちは大学生と一緒に研究活動に取り組みました。英語でのコミュニケーションにも徐々に慣れ、耳が慣れてきたことで、積極的に英語で話しかける姿も見られるように。

大学生のサポートを受けながら、スライドの構成やデータの分析方法なども学びつつ、生徒たちは自分たちで英語でやりとりを行い、主体的に取り組んでいました。

そして迎えた翌日の最終発表会。3つのグループに分かれてそれぞれ研究成果を英語で発表しました。担当の大学生たちはまるで兄弟姉妹のように温かく見守ってくれ、生徒が英語の質問に答えると、自分のことのように喜んでくれる場面もありました。生徒たちの成長を感じられる、感動的な時間となりました。



サイエンスパークで最先端技術を体感

最終日には、新竹サイエンスパークを訪問。工業技術研究院 (Industrial Technology Research Institute) やRORZE CORPORATIONを見学しました。現地企業の方から直接お話をうかがい、昼食のおもてなしもいただくなど、台湾の産業や技術に触れる貴重な機会となりました。



研修を終えて ～感謝とこれから～



今回の台湾研修では、生徒たちは英語という共通言語を通じて、多くの出会いと経験を得ることができました。挑戦を重ねる中で、自信と成長を実感する姿が随所に見られました。

温かく迎えてくださった台湾大学の先生方・学生の皆さん、見学先の企業の皆さま、そして応援して下さったすべての方々に、心より感謝申し上げます。

これからも、国際的な視野を持ち、自ら学び、伝える力を育ててほしいと願っています。